

経営高度化としての統合リスクマネジメント経営の考察

日 時： 2014 年 10 月 10 日（金）13 時 30 分－17 時 00 分
 会 場： 日本大学経済学部 7 号館 （最寄り駅：JR 水道橋駅から徒歩約 3 分）
 主 催： 横幹技術協議会、横幹連合
 参 加 費： 横幹技術協議会会員企業の関係者、横幹連合会員学会の正会員、学生は参加無料。
 当日資料代：1,000 円（希望者のみ）
 参加申込：【事前登録】オンライン申込（http://www.trasti.jp/forum/forum43_kyg.html）

【企画趣旨】

企業におけるリスクマネジメントを守りの経営と捉えるだけでなく、積極的な戦略を考える上でリスクを分析することは経営高度化にとって重要なことと考え、社会の複雑化や多様化やグローバル化に対応できる経営高度化の仕組みやシステム、BCP（事業継続計画）を含むリスクマネジメントを企業経営に取り込みためのフレームワークや手法を横幹調査研究会として、事例となる企業を巻き込んで、2012 年 4 月から 2014 年 3 月まで実行してきた。

本フォーラムでは、本研究会における成果を調査会の代表メンバーからプロジェクト経過とともに経営リスクマネジメントの考え方と手法について報告する。その上で、未来志向の統合報告書の分析による経営の高度化について議論する。

【プログラム】

(敬称略)
 総合司会：飯島俊文

13:30-13:35	開会あいさつ	出口 光一郎（横幹連合 会長）
13:35-14:15 (40 分)	◆ 講演 1 「経営高度化の統合リスクマネジメント経営と導入プロジェクト」	森 雅俊（千葉工業大学 教授）
14:15-14:55 (40 分)	◆ 講演 2 「リスクの分析と評価のトータル・アプローチ」	田中 久司（アークス研究所 代表）
14:55-15:10 (15 分)	休 憩	
15:10-15:40 (30 分)	◆ 講演 3 「統合報告の動向と経営高度化の関連」	石島隆（法政大学 教授）
15:40-16:20 (40 分)	◆ 講演 4 「イノベーション・マネジメントのための目的工学と連環データ分析」	唐澤 英安（データ・ケーキベーカー株式会社 代表取締役）
16:20-16:55 (35 分)	◆ パネルディスカッション	モデレーター：森 雅俊 パネラー：石島隆 田中久司 唐澤英安
16:55-17:00	閉会あいさつ	大場 允晶（横幹技術協議会 副会長）

経営高度化としての統合リスクマネジメント経営の考察

2014 年 10 月 10 日（金）13 時 30 分－17 時 00 分

【 講 演 要 旨 】

(敬称略)

講演1	経営高度化の統合リスクマネジメント経営と導入プロジェクト
	<p>◆ 森 雅俊 (千葉工業大学 教授)</p> <p>東日本大震災以来、リスクマネジメントやBCP（事業継続計画）に注目が集まりました。本フォーラムでは、日本再生への新しい経営の形として統合リスクマネジメント経営を推奨します。3年間の研究会活動と企業との共同研究の趣旨と成果を発表いたします。</p>
講演2	リスクの分析と評価のトータル・アプローチ
	<p>◆ 田中 久司 (アークス研究所 代表)</p> <p>リスクマネジメントの手順で中核となるリスクの分析と評価について、事例研究的に具体的な進め方を示すとともに、企業の総リスクを算定して、その結果を経営計画と突合せ、リスクと体力のバランスを考慮した持続的な企業価値の向上を目指す経営計画の有り様を探るトータル・アプローチを提案します。</p>
講演3	統合報告の動向と経営高度化の関連
	<p>◆ 石島 隆 (法政大学 教授)</p> <p>統合報告の目的と国内外における取り組み状況を紹介した上で、わが国製造業の各業種から統合報告書を作成している代表的な企業数社を選んで、統合報告書を比較分析し、経営高度化との関連を検討する。</p>
講演4	イノベーション・マネジメントのための目的工学と連環データ分析
	<p>◆ 唐澤 英安 (データ・ケーキペーカ株式会社 代表取締役)</p> <p>企業の本来の目的は、新しい知識を創造して新しい価値を社会に提供するイノベーションにある。しかし組織は本能的に分業化、専門化、制度化という生理に捉われ、いわば”改善型 PDCA の罠”という潜在的リスクに陥ってゆく。イノベーションを起こしマネジメントする方法論として、目的工学と連環データ分析を検討する。</p>
パネルディスカッション	企業経営の高度化に向けたディスカッション
	<p>モデレーター: 森 雅俊 パネラー: 石島隆 田中久司 唐澤英安</p> <p>最近のトレンドとして、ビックデータが昨今話題に上がっています。今回のフォーラムで取り上げたリスクマネジメントと経営高度化にもこのビックデータは、大いに利用可能と考えます。統合リスクマネジメント経営がどのような形態を取るのか、パネラーと会場の皆さんも参加し検討をしましょう。</p>

＜第 43 回横幹技術フォーラム 参加申込書＞

1.お名前： _____ 2.ご所属： _____

3.電子メール： _____ 4.TEL： _____

5.参加区分：※該当するものに○印をつけてください。

- (a) 横幹技術協議会会員企業の関係者 (b) 横幹連合会員学会の会員 (学会名： _____ 学会)
(c) 学生 (d) その他

交通案内

<http://www.eco.nihon-u.ac.jp/about/maps/>

日本大学 経済学部 7号館 2階講堂

最寄駅：JR、地下鉄 水道橋駅 ・地下鉄 神保町駅

